

地域の皆様には、日ごろから大和こども園へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、今年5月からは、大きな工事が入り、近隣の皆様には、何かとご迷惑をおかけしていますことをお詫び申し上げます。11月中旬で工事は終了見込みですが、それまで、本園に工事車両が出入りします。周辺の道路等でご迷惑をおかけしないよう、また、事故のないように安全には十分気を付けて参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

さて、大和こども園は、208名の園児とその園児の健やかな成長を願うスタッフ63名によって様々な活動が生まれています。下に示した活動もその1例です。今年は、新型コロナウイルスの感染防止から例年のような行事等はできませんが、「安心・信頼」「自ら」「人間関係」を大切に、体験からその子にとって価値のある学びが生まれるように取り組みを進めています。幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。園での遊びを通した「つぎこんなことをやってみよう。」(意欲)「こうするともっと楽しくなりそう。」(創意工夫・探究心)「みんなと力を合わせてやってみよう。」(協力)等といった心の働きがまさに将来の人格形成の礎になるものと捉え、園児たちの主体性を大切に保育を展開しています。

今後とも温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

大和こども園 園長 池田 巧

子どもの達の願いから遊びが創り出されています(年長児)

～友だちと活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わう～

新型コロナウイルスの流行に伴い行事が中止や延期となる中、感染防止についても考慮しながら「何かみんなで出来ることはないか」、「楽しい思い出を作ることが出来ないか」と年長組の子どもたちみんなで楽しめる夏の行事について話し合い考えました。

「魚獲りたい」

「楽しい事って何があるかな？」

「きれいな石を探したいな」

「幻のバッタ探したい」

「お弁当持っていきたい」

たくさんの意見から、子ども達の願いが叶えられる場所として大杉みどりの里へ行くことに決めました。豊かな大杉の自然の中でみんなが楽しく過ごせるようにと出来ることを話し合ったり、相談したりしながら当日に向けて友だちと協力しながら準備を進めました。経験から得た知識を取り入れながら試行錯誤しながら自分の役割に一生懸命取り組んでいました。

ダンボールスライダー作り

ネイチャービンゴカード作り

「これくらい角度じゃないと滑らないかな」

「飾り付けをしたらパーティーみたいで楽しいよね」

お弁当を食べる場所に飾り付けをしたい

「虫を描こう！」分からない部分は図鑑を見ながら描いてみよう

8月5日いざ、大杉みどりの里へ出発!!

楽しみにしていた岩魚つかみ。殆どの子が生きた岩魚を捕まえるのは初体験です。



「そこそこ」

「そっちにおった」

ヌルヌルしてギュッと掴むことに苦戦しながらも子ども達一人一人の活躍で川の岩魚はすべて捕まえることが出来ました。 **やったー！岩魚get!!**



獲った魚は保護者会役員の方や園職員に調理してもらいその場で焼いて食べました。獲れたて焼き立ての岩魚の味は格別！一匹ペロリと完食していました。

「頭も骨も全部食べれるよ」



「ちょっと怖いな」



岩魚は岩陰に隠れているよ。探してみよう

「なんで？」みんなの疑問

岩魚の話をしていると...

- ・なんで、切っても魚は動いていたの？
 - ・なんで、焼いても魚の目は開いているの？
- という子ども達からの“なんで？”が出てきました。

そこへ...

生き物に詳しい 園長先生が登場!

園長先生より魚の生態について詳しくお話を聞くことが出来ました。「少しの傷でも人間は体が動くこと」や「まぶたの話」を聞き、自分の体の仕組みと比べながら「ふへん」「そうなんや〜」と頷きながら「じゃあ、水槽の魚見てみよう！」と納得する子ども達でした。

コロナウイルスの対策



お昼寝は間隔を開けて、寝る方向を互い違いにしています。

新型コロナウイルスの感染が拡大しています。園でも感染拡大を防ぐため、手洗いや3密を防ぐなど様々な対策を行っています。その中のいくつかを紹介します。



登園時は、非接触型体温計で体温測定しています。



職員はいつもマスク着用し、保育をしています。



園内の拭き掃除は次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。

おもちゃの掃除は次亜塩素酸ナトリウムで拭いたり、消毒剤の入った石けんで洗い流しています。



遊びの中からたくさんのことを学んでいます(1歳児)

子どもたちは遊びを通して様々な素材に触れる中で、五感(視覚・嗅覚・味覚・聴覚・触覚)を使ってたくさんのことを感じています。また、1歳児では感じたことを体全体を使って表現したり、簡単な言葉で伝えたりする姿が見られます。私たち保育教諭は、子どもたちが感じたことを受け止めて共感し、面白さや不思議に感じたことを共有する中で、信頼関係を育み、感じたことを言葉で返しやりとりをすること(応答)で発語を促しています。

氷に触ってみましたよ



シートの上を滑らせてみたよ

つつつだね。

あれ？
氷はどこに行ったのかな？



氷の上に手を置いてみたよ

ざらざら

舐めてみたよ



冷たいー!

ちょっとなめてみようかな？



洗面器を傾げてみたよ
どんな音がするかな？

指の間から何か垂れてきた!



大きな氷を持ってみたよ

このほかにも、スライム・小麦粉粘土・寒天・ウォーターマット・泡など様々な素材を使って遊んでいます。形状の変化を見たり、感触が変わっていく過程を手や指先で感じています。

色んな国の友達、先生がいるよ



大和こども園には、外国籍の子ども達が8名在籍しています。また、外国籍の子どもたちが友だちとコミュニケーションをとったり、こども園で安心して気持ちよく過ごすことが出来るように、3名の通訳職員も配置しています。

8月始めには、来年の東京オリンピック・パラリンピックに出場予定のブラジル選手にビデオメッセージを送りました。ブラジル国籍の子ども達が、ポルトガル語でメッセージを話し応援しましたよ。

メッセージ

“AMO O JAPÃO, MAS MEU CORAÇÃO É BRASILEIRO”
「日本が好きですけど私の心はブラジル(人)です」
“LUTE COM TODAS AS SUAS FORÇAS”
「あなたの力を全部合わせて、それで戦う」
“VAI, BRASIL! VAI SER CAMPEÃO!”
「ブラジル、行こう！勝利へ向かおう！チャンピオンになれ！」
FORÇA OU 「頑張れ！」



旬の食材を使った人気メニューを紹介

～冬瓜スープ～

材料<子ども4人分>

冬瓜・・・300g 鶏もも肉・・・40g 生姜・・・1かけ 人参・・・20g
生椎茸・・・2枚 うす揚げ・・・1/2枚 ねぎ・・・20g

調味料

サラダ油・・・小さじ1 塩・・・少々 酒・・・少々 しょう油・・・適量
かつお節・・・少々 水・・・適量

《作り方》

- ①あらかじめ、かつお節と適量の水でだしをとっておく。
- ②冬瓜は皮とワタを取り除いておく。
- ③材料は適当な大きさに切り、生姜はすりおろす。
- ④鍋にサラダ油をひき、生姜と鶏肉、人参を炒める。
- ⑤鶏肉の色が変わってきたら①のだし汁を入れ、冬瓜を加えてひと煮立ちさせる。
- ⑥冬瓜が柔らかくなったら、ねぎ以外の具材を全て加え、調味料で味付けをする。
- ⑦ねぎを散らし、ひと煮立ちさせる。

